

平成28年度
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 

新進バレエダンサー育成及びバレエ団の環境整備

報告書

ごあいさつ

近年、世界のバレエ界における日本人ダンサーの目覚ましい活躍が国内外で注目を集めています。一方、国内バレエ団が世界のバレエ団と肩を並べるに至るには、解決すべき問題の多いことが改めて浮き彫りになっています。

日本バレエ団連盟では、前身である東京バレエ協議会における平成25年度、連盟改組後の平成27年度に続き、平成28年度も文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として「新進バレエダンサー育成及びバレエ団の環境整備」を実施いたしました。

この事業は、海外優秀指導者による新進バレエダンサーに向けたマスタークラス開催と、バレエ団のマネジメントに関する事例調査を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面から舞台芸術活動を支える人材の育成を狙ったものです。

本年度、ダンサー育成では昨年度に続き、名教師として国際的評価の高い指導者を招聘し、新進のプロフェッショナル・ダンサーへのレッスンをを行うとともに、プロを目指す若手ダンサーとその指導者にも両氏のレッスンを公開いたしました。

マネジメントに関しましては、米国、英国の芸術団体での調査を実施、なかでもこのところ急速に有効性が増しているデジタルマーケティングの先進事例について調査を実施するとともに、国内バレエ団の現状についてもアンケートを行い、今後の課題について検討いたしました。

これらの調査・活動がバレエ界の環境整備につながり、日本のバレエがさらに充実していくことを願い、ここに報告書としてまとめましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本事業にご協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。引き続き、日本バレエ界の発展のために尽力させていただく所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

目次

● ごあいさつ

● 事業概要

● バレエ団のマネジメントに関する調査報告

I バレエ団におけるマーケティング戦略

- 1 調査の背景と目的……7
- 2 芸術団体におけるマーケティング……8
 - 2-1 マーケティングの意義と変遷……8
 - 2-2 マーケティングのフレームワーク……11
 - 2-3 デジタルマーケティング……17
- 3 海外バレエ団訪問調査報告……23
 - 3-1 ボストン・バレエ団への聞き取り調査……23
 - 3-2 イングリッシュ・ナショナル・バレエ団への聞き取り調査……38
 - 3-3 ロイヤル・オペラ・ハウスへの聞き取り調査……47
 - 3-4 スコティッシュ・バレエ団への聞き取り調査……63
- 4 芸術専門コンサルティング会社訪問及びセミナー参加報告……71
 - 4-1 キャパシティ・インタラクティブへの聞き取り調査……71
 - 4-2 デジタル・マーケティング・ブートキャンプ参加報告……77

II スコットランドにおけるバレエ団の運営実態と助成制度

- 1 調査の背景と目的……103
- 2 スコットランドにおける助成制度……104
- 3 スコティッシュ・バレエ団への聞き取り調査……106

● マスタークラス実施報告

- 1 概要……115
- 2 指導者へのインタビュー……119

平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

事業概要

1. 事業名

新進バレエダンサー育成及びバレエ団の環境整備

2. 事業の趣旨・目的

日本は約40万人と言われるバレエ学習者を擁し、また国内外でも日本人ダンサーが顕著な活躍を見せる「バレエ大国」である。しかしながら民間がダンサー育成を担う我が国では、育成環境の開発と整備に課題も多い。優秀な指導者による新進ダンサーへの研修が不可欠であることは言うまでもないが、体系的指導法が確立されている海外と比較して、日本の指導者には困難がつきまとい、さらなる研鑽も求められている。また安定した育成環境の整備に必要なバレエ団のマネジメントに関しても様々な改善が求められているが、具体的な調査結果を伴うバレエ環境の実態把握は進んでいない。

本事業は、海外優秀指導者による新進バレエダンサーに向けたマスタークラス開催と、バレエ団のマネジメントに関する事例調査および研修開催を2つの大きな軸とし、ダンサーとマネジメントという両面から舞台芸術活動を支える人材の育成を行う。このプロジェクトを通じ、新進ダンサーがプロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力を習得するとともに、日本のバレエ団における運営スタッフがバレエ団運営に係るノウハウを学ぶことで、世界に通用する新進芸術家の育成とバレエ界の基盤整備を行うことが目的である。本事業の実施により、日本バレエ界全体の芸術水準の向上と更なる発展に寄与することを目指す。

3. 事業の内容

●新進ダンサー育成～マスタークラス～

海外の経験豊かな優秀指導者を日本バレエ団連盟所属のバレエ団に招聘し、若手ダンサーを対象とするマスタークラスを開催した。また、その様子をプロフェッショナル・ダンサーを目指すバレエ学習者及びその指導者に向けて公開した。

指導者：ローラン・フォーゲル、パトリック・アルマン

対象：スターダンサーズ・バレエ団、小林紀子バレエ・シアター、牧阿佐美バレエ団、
東京バレエ団 (実施順)

● マネジメントに関する事例調査および研修開催

▶ 海外事例調査

国内のバレエ団においては、マーケティングの重要性が認識されつつも、その理解と実践による知識の蓄積が十分に進んでいないのが現状である。本調査では、マーケティング先進国である米国及び英国に焦点をあて、バレエ団のマーケティングへの取り組みについて調査した。さらに、具体的な手法を広く国内バレエ団に向けて公開することを目的に、芸術分野に特化したデジタルマーケティングセミナーに調査員を派遣した。

また、昨年度に引き続き、助成制度を中心としたバレエ団運営の実態調査を、今年度はスコットランドを対象に行った。

■ 調査対象

- ボストン・バレエ団（米国、ボストン）
- ロイヤル・オペラ・ハウス（英国、ロンドン）
- イングリッシュ・ナショナル・バレエ団（英国、ロンドン）
- スコティッシュ・バレエ団（英国、グラスゴー）
- キャパシティ・インタラクティブ [Capacity Interactive]（米国、ニューヨーク）

■ 調査会議委員

- 安達悦子（東京シティ・バレエ団）
- 小山久美（スターダンサーズ・バレエ団）
- 小林健太（小林紀子バレエ・シアター）
- 諸角佳津美（井上バレエ団）

▶ バレエ団職員を対象としたマネジメント・セミナー

多くのバレエ団にとっての関心事でありながら学ぶ機会の乏しい経営（マネジメント）をテーマに、オーケストラの財政再建、積極的な事業展開に高い手腕を発揮している現役マネージャーを講師としてセミナーを開催した。

テーマ：「芸術団体におけるマネジメント」

講師：西濱秀樹氏（公益社団法人山形交響楽協会 専務理事兼事務局長）

日時：11月30日(水)15:00～17:00

会場：芸能花伝舎A棟1階 会議室A3